

話と会夫 聞き聞み読

主婦 黒田 綴枝さん(76)

＝大洲市長浜町沖浦



認知症を患う夫の教示さん(左)に新聞を読み上げる黒田綴枝さん

「ピンポン、ニュースを読みますよ」。毎朝、認知症を患う夫の教示さん(79)に新聞記事を読み聞かせている。めっきりと話すことが減った夫に「考える力や話す力を付けてほしい」との願いを込めて。

まずは生活面の「きょうの運勢」。互いの誕生日を確認して一喜一憂し、「今日は気を付けようね」と声を掛ける。孫の通う学校の記事や知人の投稿が話題になることも。勉強熱心な教示さんも以前は丹念に新聞を読んでいたが、認知症になった数年前から徐々に読まなくなっていくた。

綴枝(つづえ)さんの声にじっと耳を傾けて「ふうん」と声に出し、読むように勧めると「読んでませ」と返事をする。意見や感想を聞いてコミュニケーションを図る綴枝さん。「2人とも新聞が大好きで、毎朝話題になる情報を運んでくれる。夫の脳が少しでも活性化するように、できる限り続けたい」

(杉本賢司)